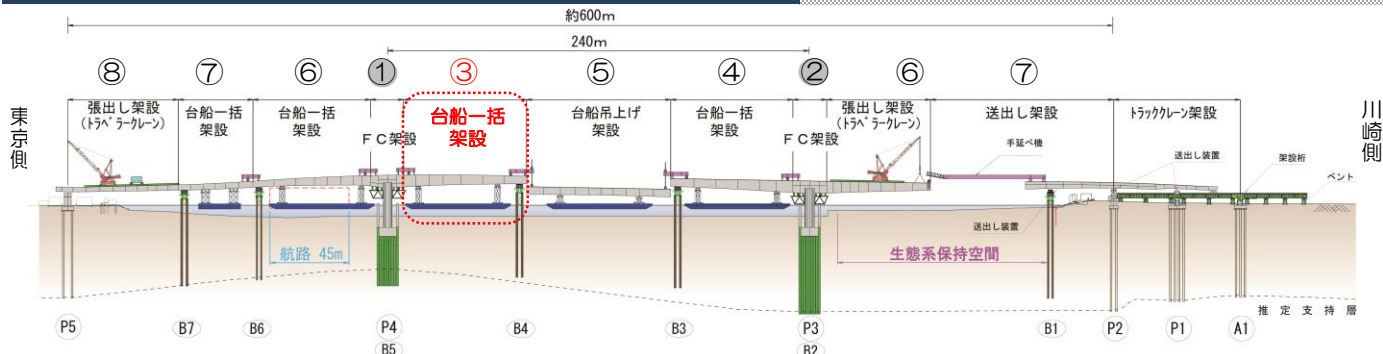




70mの橋桁を1日で一括架設

多摩川に橋桁が現る！



A：橋台のこと（アバット） P：橋脚のこと（ピア） B：架設用の仮の橋脚（ベント）のこと

9月30日（月曜日）の早朝、P3-P4橋脚間240mのうち、東京側の約70mの橋桁を架設しました。約1000tもある橋桁を組み立てていた千葉県富津市の岸壁から、4000t級の巨大な台船に載せ、約2時間半かけて川崎まで運搬し、水面の干満差を利用した「台船一括架設工法」により架設しました。

今後、P3-P4橋脚間の橋桁（④、⑤）と東京側の橋桁（⑥、⑦）を順次、台船架設していく予定です。

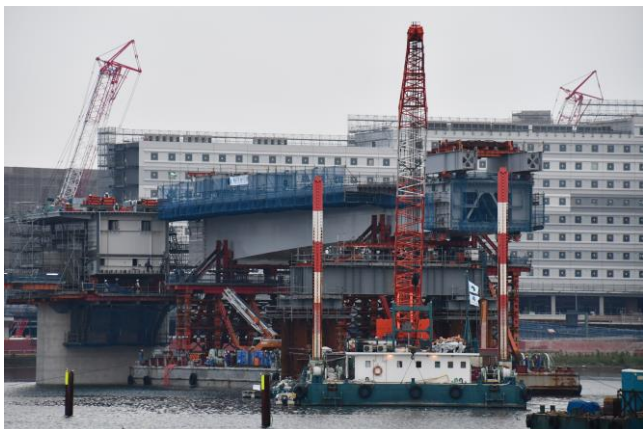
お正月には、橋梁の大部分が多摩川に姿を現すことでしょう。



架設前（B4ベントーP4橋脚）全景



橋桁積込状況（千葉県富津市）



橋桁架設状況



橋桁架設完了

【事業進捗について】

羽田連絡道路は、東京五輪までの開通を視野に入れながら、環境にも最大限に配慮し、令和2年内の開通に向けて取組を進めてきましたが、想定以上の河口部における土砂の堆積や台風の襲来等による作業の中断、地盤の影響による橋脚基礎杭打設の施工効率の低下などにより、工事の遅延が発生しております。

今後も気象の影響を受ける可能性はありますが、令和2年度内の一日も早い開通を目指して、引き続き取り組んでまいります。



8月1日（木曜日）午後、キングスカイフロント地区で開催されました「夏の科学イベント 2019」に昨年に引き続き、川崎市建設緑政局と五洋JVで出展しました。会場は工事広報館および駐車場スペースで、橋りょう紙模型の製作体験と建設機械の試乗を行いました。製作体験では、実験を通して鈹桁橋と箱桁橋の橋梁形式の違いを学び、箱桁橋の紙模型をグルーガンを使って組立て、溶接気分を体験してもらいました。建設機械の試乗は、高所作業車に乗って橋りょうの建設状況を高いところから見てもらいました。本会場には科学イベントに来られた約2500名のうち、小学生を中心に約300名の方に来場して頂き、大盛況でした。



紙模型製作状況



建設機械試乗状況



建設機械試乗状況

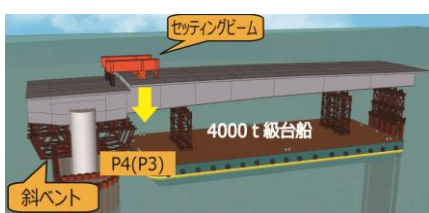
【土木豆知識⑦】 橋梁の架設工法① 一括架設工法

多摩川を渡る延長約600mの区間には、中間の橋脚が2基しかなく、支間長が長いことから、橋脚と橋脚の間に仮の橋脚（バント）を立てて橋桁を支えながら架設しています。

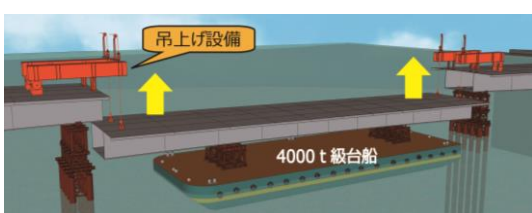
このバントを利用した一括架設工法には、クレーン架設工法や台船架設工法などがありますが、本橋梁においては、多摩川の水深や、航空法による高さの制限があることから台船架設工法を採用しています。この現場では、干満差を利用した「台船一括架設工法」を4か所（P4-B4間、B3-P3間ほか）で採用し、多摩川の中間部は両側の橋桁を利用した「台船吊り上げ架設工法」を採用しています。その他、東京側、川崎側は張出し架設工法を採用していますが次回ご説明したいと思います。



台船一括架設工法



台船一括架設工法イメージ図



台船吊り上げ架設工法イメージ図

【多摩川河口干潟の生き物⑦(シロチドリとメダイチドリ)】

干潟の鳥類といえば、なんと言ってもチドリの仲間が代表格ですが、殿町の干潟ではシロチドリやメダイチドリなどがよく見られます。小柄(体長17~19cm)で、カニやゴカイを探して干潟をちょこまか歩き回る様は、可愛い、の一言！ですが、子育て中のチドリは、外敵が近づくと怪我したふりをしてヨロヨロと歩き回り、自らおとりとなってヒナから遠ざけて守る、という勇敢さも併せ持っています。これを“擬傷”と言いますが、その翼を広げて左右にシグザグにふらつく姿が“干鳥足”の語源です。そう言えば、週末夜半過ぎともなると、赤ら顔の方々が干鳥足を実演しているのをよく見かけますが、実は、前前前世くらいにはチドリのように命を懸けて子供たちを守った英雄だった、のかもしれないね。



シロチドリ
思ったほど白くは…
と、言われましても…

メダイチドリ
赤ら顔！？
…って、
元からこんなです！

お問合せ先

川崎市建設緑政局広域道路整備室
羽田連絡道路建設担当
川崎市 住所：〒210-0821
川崎市川崎区殿町3丁目25-25
電話：044(200)0436
FAX：044(288)1782
<http://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000097966.html>



五洋・日立造船・不動テトラ・横河・
本間・高田共同企業体（五洋JV）
住所：〒210-0821
川崎市川崎区殿町3丁目25-24
電話：044(201)9381
FAX：044(201)9382
<http://www.poc-site.jp/kb/tonomachi/>